

美術 優先演習集

南山中 1 / 2 学期試験週間用 / 50 分想定

この教材の使い方

まず診断を 8 - 10 分で解き、間違えた分野を A 必須からやり直します。B 標準は説明まで書けるか、C 応用は作品名と理由をつなげられるかを確認します。

学習範囲

指定作品 10 点と基礎用語を中心に扱います。人物描写・デザイン・彫刻刀は A 4、美術史・建築・ヘルプマークなどは A 5 で補います。A の語句から B の説明、C の比較へ進み、間違えた項目を授業プリントと照合しましょう。

優先	分野	まず覚えること
A 必須	レタリング	明朝体・ゴシック体、画、レタリング手順
A 必須	色彩	無彩色・有彩色、色相環、補色、三属性、減法混色
A 必須	版画	木版画、浮世絵、錦絵、見当、版の数と色
A 必須	日本絵画	鑑賞の道具 4 つ、10 作品・作者・技法
B 標準	説明	現象や技法を短文で説明
C 応用	比較	作品の特徴から作者・名称を選び理由を書く

短い診断 12問

答えは別冊の解答解説で確認。漢字指定の語は、漢字で書く練習をします。

- 1 . 見出しや看板に使われる、線の太さがほぼ均一な書体を何というか。

- 2 . 新聞本文などに使われ、横線が細く縦線が太い書体を何というか。

- 3 . 色相・明度・彩度のうち、色の鮮やかさを表すものはどれか。

- 4 . 色相環で向かい合う2色の関係を何というか。

- 5 . シアン・マゼンタ・イエローを使う混色を何というか。

- 6 . 赤いネットをミカンにかけると赤みが強く見える現象を何というか。

- 7 . 多色の浮世絵版画を、何と呼ぶか。

- 8 . 版を正しい位置に重ねるための目印を何というか。

- 9 . 長い紙や絹に描いた絵を巻いたものを何というか。

- 10 . 絵の裏に補強紙を貼り、周囲に布を付けて軸に掛けるものを何というか。

- 11 . 葛飾北斎の『神奈川沖浪裏』は、何というシリーズの一図か。

- 12 . 『松林図屏風』の作者を答えよ。

A 必須 レタリングと色彩

ここは得点源。語句の漢字と、似た語の区別を固める

レタリング

- ・レタリングは、文字を読みやすく美しく、目的に合わせてデザインして書くこと。
- ・ゴシック体は線の太さがほぼ均一。明朝体は横線が細く、縦線が太い。ブロック体と混同しない。
- ・基本の手順：フリーハンドの軽い線で形を取る → 枠を決める → 直線は定規、曲線は手がき → 内側を塗る → はみ出しを修正。
- ・『永』に基本的な画や筆づかいが含まれる説明は、過去問形式で出やすい。

色彩

語	意味	混同注意
無彩色	白・黒・灰色など、色相をもたない色	有彩色と対
有彩色	赤・青・黄色など、色味をもつ色	色相をもつ
色相環	色相を似た順に環状に並べたもの	環の字
補色	色相環で向かい合う2色	補の字
純色	各色相の中で最も鮮やかな色	彩度が高い
清色	純色に白または黒のどちらかを混ぜた色	白黒を両方混ぜる意味ではない
三属性	色相・明度・彩度	彩度は鮮やかさ

混色の最小セット

減法混色の三原色はシアン・マゼンタ・イエロー。シアン＋マゼンタ＝青、マゼンタ＋イエロー＝赤、シアン＋イエロー＝緑。すべて重ねると黒に近づきます。

A 必須 練習

- 1 . 『色相・明度・彩度』のうち、明るさを表す語を書け。

- 2 . 暖色・寒色・中性色を、それぞれ 1 色ずつ例示せよ。

- 3 . ピクトグラムは、何を形と色で分かりやすく伝えるものか。

- 4 . 黒い四角を白い格子線で区切った図で、白い線の交点に灰色の斑点が見える錯視を何というか。

A 必須 版画と日本絵画

技法語句と作品名を一緒に覚える

木版画

- ・ 版木を彫刻刀で彫り、絵の具やインクを置いて、凸部の形を紙に刷り取る技法。
- ・ 浮世絵は江戸時代に庶民の娯楽として親しまれ、多版多色刷りの浮世絵版画を錦絵と呼ぶ。錦絵を浮世絵全般の別名にしない。
- ・ 一版多色木版画は 1 枚の版に複数の色を置く考え方。多版多色木版画は色ごとに版を分ける。
- ・ 見当は、紙を版に対して正しい位置に置くための目印。
- ・ 彫刻刀は、線や溝、平面など目的に応じて使い分ける。名称と用途を授業プリントの図で再確認する。

日本絵画の鑑賞に使う道具

名称	説明
襖絵	襖に描かれた絵。部屋や用途に応じた装飾と機能をもつ。
絵巻	長い紙や絹に描かれた絵を巻いたもの。開く動作で場面が続く。
屏風	広い部屋を区切ったり、背後を隠したりする道具。
掛軸	裏打ちや布、軸を備え、和室の床の間などに掛けるもの。

A 必須 練習

- 1 . 多版多色刷りの浮世絵版画を漢字 2 文字で何と呼ぶか。

- 2 . 版を重ねて刷るとき、位置を合わせる目印を何というか。

- 3 . 説明 A → B → C に対応する名称を順に書け。A 長い紙や絹を巻く。B 部屋を区切る。C 床の間に掛ける。

A 必須 10 作品の作者セット

作品名は『図屏風』『絵巻』まで含めて書く

分類	作品名・対象	作者	技法・連想語
作品	風神雷神図屏風	俵屋宗達	琳派 / 風神と雷神
作品	燕子花図屏風	尾形光琳	かきつばた
作品	紅白梅図屏風	尾形光琳	紅白の梅
作品	鮭	高橋由一	油彩 / 明治
作品	神奈川沖浪裏	葛飾北斎	富嶽三十六景
工芸品	玉虫厨子	作者不詳	技法：異時同図法
作品	源氏物語絵巻	作者不詳	絵巻
作品	鳥獣人物戯画	作者不詳	動物や人物
作品	唐獅子図屏風	狩野永徳	屏風
作品	松林図屏風	長谷川等伯	水墨 / 屏風

作者名の注意

『風神雷神図屏風』は他の絵師も描きますが、今回の対策プリントでは出題時の作者を俵屋宗達として覚える指示があります。『神奈川沖浪裏』は作品名、『富嶽三十六景』はシリーズ名です。

A 必須 練習

1. 尾形光琳の作品を2つ書け。
2. 高橋由一の『鮭』で、授業プリントと結びつける技法・材料を答えよ。
3. 作者不詳の絵画作品を2つ書け（工芸品は除く）。
4. 長谷川等伯の作品名を、語句を省略せず書け。

A 必須 作品図版で練習

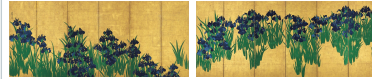
図版を見て、作品名と作者を空欄に書く

図版 1



作品名： _____
作者： _____

図版 2



作品名： _____
作者： _____

図版 3



作品名： _____
作者： _____

図版 4



作品名： _____
作者： _____

図版 5

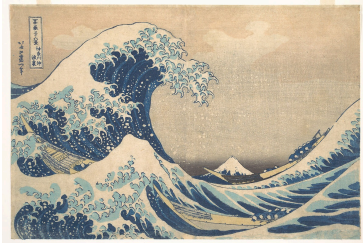


作品名： _____
作者： _____

A 必須 作品図版で練習

図版を見て、作品名と作者を空欄に書く

図版 6



作品名： _____
作者： _____

図版 7



作品名： _____
作者： _____

図版 8



作品名： _____
作者： _____

図版 9



作品名： _____
作者： _____

図版 1 0



作品名： _____
作者： _____

B 標準 短文で説明する

語句だけでなく、なぜそうなるかを一文で

説明練習

B 既 - 1 . 赤いネットをミカンにかけると赤みが強く見える理由を、色の現象名を使って説明せよ。

B 既 - 2 . 浮世絵が江戸時代に広まった理由を、木版技術と色の数に触れて説明せよ。

B 既 - 3 . 絵巻を開く動作が、どのような鑑賞につながるか説明せよ。

B 既 - 4 . 寝殿造と書院造の表記を、授業プリントで許容されている形で 1 つずつ書け。

B 既 - 5 . 重要文化財と国宝の違いを、授業プリントの説明に沿って書け。

B 標準 作品名から広げる

次の語から、関係する作品名・作者・時代の組み合わせを 1 つずつ書く。

語	作品名	作者または扱い	時代
琳派			
浮世絵			
明治			
水墨			

C 応用 比較と判断

図版が不鮮明でも、手がかりを言葉にする

比較練習

C 既 - 1 . 『神奈川沖浪裏』と『松林図屏風』を、題材・技法・作者の3点で比較せよ。

C 既 - 2 . 『燕子花図屏風』と『紅白梅図屏風』に共通する作者を答え、作品名の漢字で注意する点を書け。

C 既 - 3 . 『風神雷神図屏風』が屏風であることから、画面の使われ方を1つ説明せよ。

C 既 - 4 . 画像の人物や動物が同じ画面に複数の時点で描かれているとき、どの表現方法を疑うか。

最後のセルフチェック

- ☐ 作品名を漢字で10個、見ずに書ける。
- ☐ 作者名を10作品に対応づけられる。
- ☐ 補色・純色・清色・彩度を区別できる。
- ☐ 一版多色と多版多色を説明できる。
- ☐ 襖絵・絵巻・屏風・掛軸を説明に対応づけられる。
- ☐ 10作品の名前と作者を、漢字で見ずに書ける。

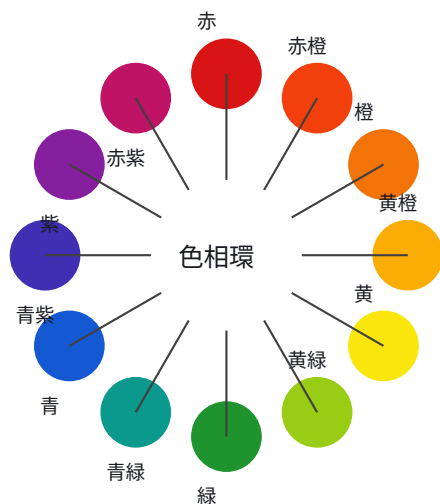
作品名の確認

作品名は語尾の『図屏風』『絵巻』まで書き、作者を推測だけで断定しないようにします。玉虫厨子は対象名、異時同図法は技法です。

自作図解で確認

授業の語句を、図を見て説明できるようにする

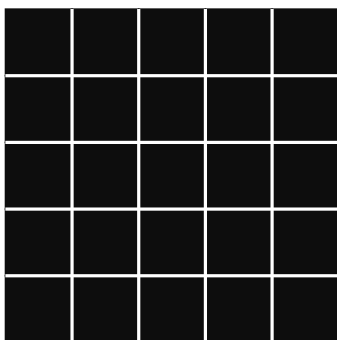
色相環と補色



線で結んだ対向色が補色：赤↔緑、赤橙↔青緑、橙↔青、黄橙↔青紫、黄↔紫、黄緑↔赤紫。

色相・明度・彩度は別々の属性です。

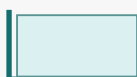
ヘルマン格子（模式図）



白い格子線の交点に灰色の斑点が見える錯視

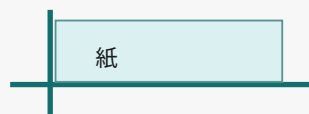
見当（模式図）

かぎ見当（L字）



紙の角をL字に合わせる

引付見当（直角の基準）



紙

自作図解：書体と筆づかい

文字の形を見て、特徴を言葉で説明する

明朝体とゴシック体

明朝体



横線が細い・縦線が太い・うろこ

ゴシック体



線の太さがほぼ均一

「永」の画・筆づかい（模式図）

永

①点 ②横画 ③はね ④左払い ⑤右払い

筆を置く → 運ぶ → 止める／はねる → 払う、の方向を意識する。

実際の書字では、各画の始筆・送筆・終筆を見て形を整える。

A 1 レタリング・色彩

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（1 - 1 2）

問	設問	解答欄
A 1 - 1	レタリングとは何をすることか。	
A 1 - 2	線の太さがほぼ均一な書体を答えよ。	
A 1 - 3	横線が細く縦線が太い書体を答えよ。	
A 1 - 4	レタリングで最初に形を取るとき、どのような線を使うか。	
A 1 - 5	文字の直線部分と曲線部分で、使い分ける道具・方法を答えよ。	
A 1 - 6	ピクトグラムが伝えるものを一つ答えよ。	
A 1 - 7	色の三属性をすべて書け。	
A 1 - 8	純色に白または黒のどちらかを混ぜた色を何というか。	
A 1 - 9	暖色・寒色・中性色を一色ずつ例示せよ。	
A 1 - 1 0	色相環で向かい合う 2 色を何というか。	
A 1 - 1 1	シアンとイエローを減法混色すると何色になるか。	
A 1 - 1 2	赤いネットをミカンにかけたとき赤みが強く見える現象を答えよ。	

A 2 版画・日本絵画の道具

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（1 - 1 2）

問	設問	解答欄
A 2 - 1	版木の凸部に絵の具やインクを置いて刷る技法を答えよ。	
A 2 - 2	一版多色木版画と多版多色木版画の違いを、版の数で説明せよ。	
A 2 - 3	多版多色刷りの浮世絵版画を何と呼ぶか。	
A 2 - 4	紙を版に正しい位置で重ねるための目印を答えよ。	
A 2 - 5	彫刻刀を、線・溝・平面など目的に応じて使い分ける理由を答えよ。	
A 2 - 6	長い紙や絹に描いた絵を巻いたものを答えよ。	
A 2 - 7	部屋を区切ったり背後を隠したりする道具を答えよ。	
A 2 - 8	裏打ち・布・軸を備え、床の間などに掛けるものを答えよ。	
A 2 - 9	襖に描かれ、部屋の装飾と機能に関わる絵を答えよ。	
A 2 - 1 0	重要文化財と国宝の関係を一文で説明せよ。	
A 2 - 1 1	寝殿造りと書院造りを、それぞれ別の表記でも書け。	
A 2 - 1 2	異時同図法とはどのような表し方か。	

A 3 1 0 作品の対応

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（1 - 6）

問	設問	解答欄
A 3 - 1	『風神雷神図屏風』の作者を答えよ。	
A 3 - 2	尾形光琳の作品を2つ答えよ。	
A 3 - 3	『鮭』の作者と、授業で結びつける材料・技法を答えよ。	
A 3 - 4	『神奈川沖浪裏』と、シリーズ名『富嶽三十六景』を区別して説明せよ。	
A 3 - 5	『玉虫厨子』は何の名前で、『異時同図法』は何の名前か。	
A 3 - 6	『源氏物語絵巻』の作者欄はどう書くか。	

A 3 1 0 作品の対応

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（7 - 1 2）

問	設問	解答欄
A 3 - 7	『鳥獣人物戯画』の作者欄はどう書くか。	
A 3 - 8	『唐獅子図屏風』の作者を答えよ。	
A 3 - 9	『松林図屏風』の作者と技法を答えよ。	
A 3 - 1 0	『鯉』と『神奈川沖浪裏』の時代をそれぞれ答えよ。	
A 3 - 1 1	作品名に『図屏風』まで必要な作品を 2 つ答えよ。	
A 3 - 1 2	作者不詳として確認した絵画作品を 2 つ答えよ。	

A 4 人物・デザイン・日本美術史

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（1 - 6）

問	設問	解答欄
A 4 - 1	情報や行動を、単純化した形と色で伝えるデザインを何というか。	
A 4 - 2	人物の動きや形を短時間でとらえて描く練習を何というか。	
A 4 - 3	形・量感・立体感を意識して対象を描く練習を何というか。	
A 4 - 4	授業プリントで扱ったデザインの考え方を三つ挙げよ。	
A 4 - 5	切り出し刀・平刀・三角刀・丸刀の用途をそれぞれ一つずつ書け。輪郭線・平面・細い溝・丸い溝との対応も書くこと。	
A 4 - 6	手書きのアルファベットを装飾的に書くことを何というか（カタカナ）。	

A 4 人物・デザイン・日本美術史

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（7 - 1 2）

問	設問	解答欄
A 4 - 7	伝源頼朝像のように、人物の姿を描いた絵を何というか。	
A 4 - 8	俵屋宗達・尾形光琳・酒井抱一に代表される日本絵画の流派を答えよ。	
A 4 - 9	石や砂で山水を表す龍安寺方丈庭園のような庭園様式を答えよ。	
A 4 - 1 0	質素で静かな様子に奥深さや美しさを感じる日本独自の美意識を答えよ。	
A 4 - 1 1	襖絵・絵巻・屏風・掛軸のうち、部屋を仕切ったり背後を隠したりするものを答えよ。	
A 4 - 1 2	異時同図法とはどのような表し方か。	

A 5 授業範囲の補充確認

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（1 - 8）

問	設問	解答欄
A 5 - 1	明朝体の横画の端にある三角形の飾りと、「永」に基本の筆づかいが含まれることの呼び名を答えよ。	
A 5 - 2	援助を必要とすることが外見から分かりにくい人が身につけるマークの名称と、見かけたときの行動を一つ書け。	
A 5 - 3	木版画の版木に用いる木を二つ挙げよ。	
A 5 - 4	一版多色木版画で黒い刷り紙を使う効果を説明せよ。	
A 5 - 5	縄文・弥生・古墳時代の特徴を、縄目文様・穏やかな土器・大陸との交流の三語に対応させよ。	
A 5 - 6	現存する世界最古の木造建築として授業で扱った寺院を答えよ。	
A 5 - 7	平安時代に中国から伝わった仏教と、平安後期に盛んになった信仰を答えよ。	
A 5 - 8	貴族の住宅様式を取り入れ、極楽浄土を表した宇治の建築と、その住宅様式を答えよ。	

A 5 授業範囲の補充確認

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（9 - 16）

問	設問	解答欄
A 5 - 9	平等院鳳凰堂の本尊と作者を答えよ。	
A 5 - 10	鎌倉美術の特徴を平安美術と比べ、仏師を二人挙げよ。	
A 5 - 11	室町時代に発達した墨の濃淡を生かす絵画と、住宅に取り入れられた建築様式を答えよ。	
A 5 - 12	安土桃山時代に城や邸宅の内部を飾った、金箔や鮮やかな色彩を用いる絵画を何というか。	
A 5 - 13	江戸初期の豪華な建築として授業で扱った日光の建築を答えよ。	
A 5 - 14	江戸中期に力をもった身分と、写生で真の姿を描こうとした画家を答えよ。	
A 5 - 15	浮世絵で、美人画と役者絵を代表する画家を一人ずつ答えよ。	
A 5 - 16	日本美術が西洋に与えた影響・流行を何というか。明治の文明開化で活躍した洋画家を一人挙げよ。	

B 標準 説明・適用

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（1 - 4）

問	設問	解答欄
B 2 - 1	補色を並べたとき、互いの色が目立って見える理由を説明せよ。	
B 2 - 2	清色と純色の違いを、混ぜるものに触れて説明せよ。	
B 2 - 3	錦絵が広く普及した理由を、木版と色数に触れて説明せよ。	
B 2 - 4	絵巻を開く動作が、時間や物語の鑑賞にどうつながるか説明せよ。	

B 標準 説明・適用

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（５－８）

問	設問	解答欄
B 2 - 5	屏風が絵を見せる道具であると同時に、部屋で役立つ理由を説明せよ。	
B 2 - 6	玉虫厨子と異時同図法を、作品名と技法名に分けて説明せよ。	
B 2 - 7	色相・明度・彩度のうち、同じ色相で明るさだけを変えるときに変わる属性を答えよ。	
B 2 - 8	『神奈川沖浪裏』を『富嶽三十六景』だけで答えると不足する理由を説明せよ。	

C 応用 比較・判断

問題数を増やした網羅確認。解答は別冊で照合（1 - 8）

問	設問	解答欄
C 2 - 1	波・浮世絵木版・江戸時代という手がかりから、作品名と作者を答えよ。	
C 2 - 2	松林・水墨・屏風という手がかりから、作品名と作者を答えよ。	
C 2 - 3	かきつばたと紅白の梅の 2 作品に共通する作者と流派を答えよ。	
C 2 - 4	同じ画面に朝と夜など別の時間が描かれているとき、疑う技法を答えよ。	
C 2 - 5	3 色を 3 枚の版に分けて刷る計画と、1 枚の版に複数色を置く計画を比較せよ。	
C 2 - 6	鮮やかさを上げたいとき、色相・明度・彩度のどれを調整するか。理由も書け。	
C 2 - 7	屏風・絵巻・掛軸を、立てる／巻く／掛けるの動作に対応させよ。	
C 2 - 8	作品名・作者・技法の 3 欄に『玉虫厨子』『作者不詳』『異時同図法』を正しく配置せよ。	